

Ⅲ 教科に関する特徴的な調査問題(京都市除く)

- 全国と比較して、いずれの教科もA層（上位）、D層（下位）の割合はほぼ同等であるが、中学校理科ではIRTバンドの上位（4, 5）の割合が少ない。
- 領域や観点によって、全国平均を下回っているものもあるが、全国の傾向と大きな違いはない。

1 小学校国語

- ・「話すこと」「聞くこと」の領域に課題が見られる。特に目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること（府正答率52.7%）に課題がある。

⇒「対話的な学び」や「協働的な学び」を充実させていく中で、意図や目的をもって聞いたり話したりする活動を設定していくことが重要である。話の意図や文脈を踏まえた判断を求める問いに取り組み、対話的な活動やメタ認知的な振り返りを通じて、選択に至った根拠を言語化する力を育てていくことが重要である。

- 1 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。
- 2 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、相手が答えやすい内容を選べるようにしている。
- 3 複数の質問を関連づけて聞くことで、相手が答えやすい内容を選べるようにしている。
- 4 複数の質問を関連づけて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを知りたいな。きっと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだな。

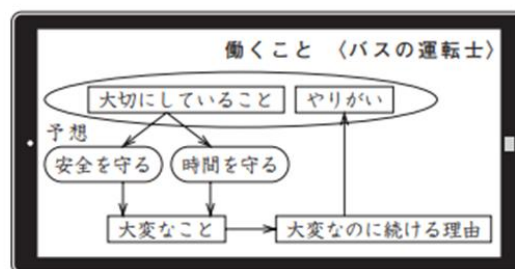
小森さん 確かに、大変そうだね。「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきつかけにして、「仕事で大変なこと」を聞くことができるかもしれないよ。

清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思っていたけど、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん きっと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。この進め方でいいかな。



1 小森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューをすることになりました。バスの運転士に興味のある小森さんたちは、インタビューで質問することを話し合っています。次の【話し合いの様子】と【話し合いの記録】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

2 小学校算数

- ・異分母の分数の計算をすることはできている(府正答率87.1%)が、数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつ分として捉えること(府正答率32.7%)に課題がある。特に、1より小さい数については正しく捉えることができているが、1より大きい数については誤って捉えている児童が一定数いる。

⇒0から1までが何等分されているかに着目して、単位分数を捉えることができるようにすることが大切である。その上で、他の目盛りが表す分数を単位分数の幾つ分かで考えることができるようにする指導が大切である。

3 (3) 次の数直線のア、イの目もりが表す数を分数で書きましょう。



ア $\frac{1}{3}$	イ $\frac{5}{6}$	4.1% (全国3.9%)
ア $\frac{1}{3}$	イ $\frac{2}{3}$	4.2% (全国4.2%)

(4) $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ を計算しましょう。

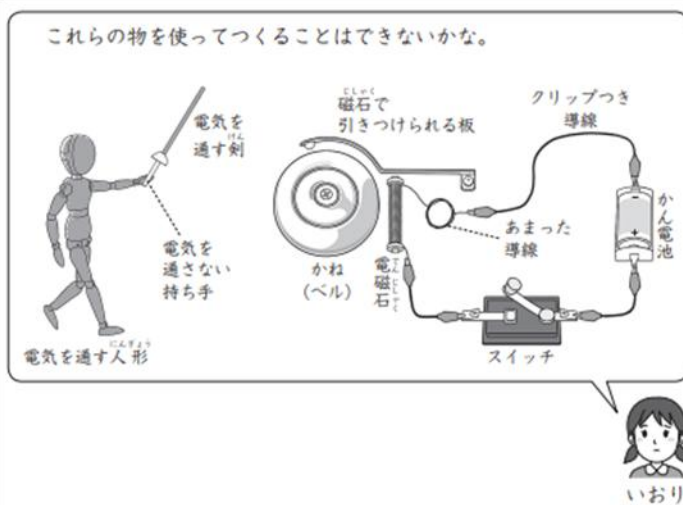
$\frac{2}{5}$ 1.4% (全国2.5%)

3 小学校理科

- ・電気が通る回路のつくり方について理解し、表現することに課題がある。電気の通り道を考え、電気を通さない部分が回路に含まれることによって回路の一部が切れて電気が通らないということを理解できていない、もしくはそのことを表現すること（府正答率41.9%）に課題がある。

⇒電気が通る正解の回路を作成するだけでなく、失敗した回路について、なぜ、つながらないのか振り返ったり、修正したりする活動が大切である。

2 (2)

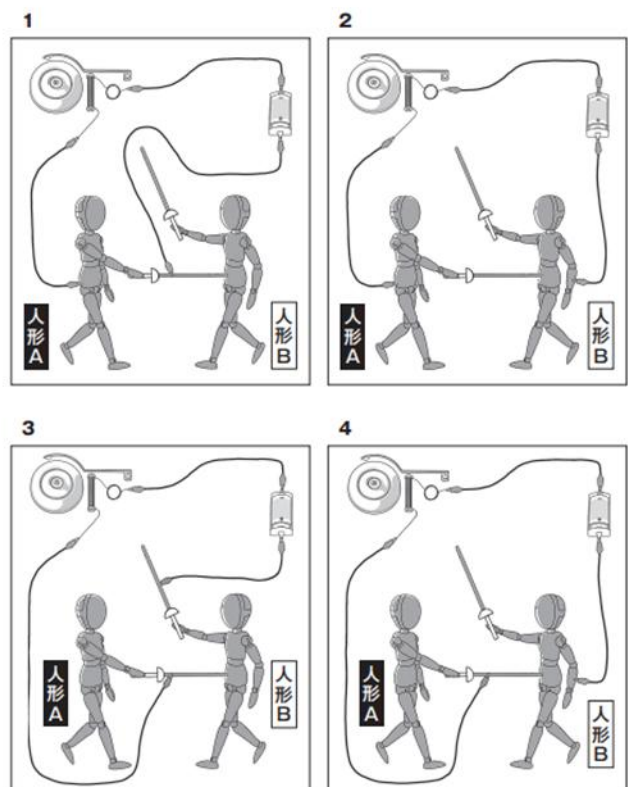


いおりさんは、かね（ベル）が鳴るしくみについて考えています。

スイッチを入れると、
かね（ベル）が鳴るしくみ
になっているね。

スイッチを人形に置きかえ、
人形に剣を当てたときだけ、
かね（ベル）が鳴るようにしたい。

(2)「人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、かね（ベル）が鳴る」のは、
どのような回路でしょうか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、
その番号を書きましょう。



4 中学校国語

- ・「書くこと」の領域に課題が見られる。特に《構成の検討》（1三 61.9%）に課題がある。また、「話すこと・聞くこと」の領域《表現、共有》（2四 22.4%）にも課題が見られる。

⇒文章の構成を考えたり、目的や意図に応じて書いたり、考えが伝わるように書き方を工夫したりといった事柄に課題が見られるため、「書くこと」や「話すこと」といった表現活動について、指導事項を明確に意識した指導を継続しながらその質を高めていく必要がある。また、日常生活の中で文章を書く機会を充実させることでさらに記述式問題の無解答率が下がり、資質・能力が高まっていくことは自明であるため、国語以外の場面も含めてそれらの機会を増やしていくことが大切である。

1 三

【ちらし】（更新版①）

第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもいっしょの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。
~~体験コーナーでは、中学生と一しょに、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。~~

日 時 令和7年11月15日（土） 10時～16時

場 所 第一中学校 体育館

会場図

体験できる時間（各回30分間）

①10時～ ②11時～ ③12時～ ④13時～

中学生と一しょに、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくるができます。

三 中井さんは、【ちらし】（更新版①）のように、＝線の部分を削除して の中に書き加えました。その意図を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 具体例を示したあとに要点を示すことで、中心となる情報に対する読み手の理解を深めようとした。
- 2 伝えるべき事柄に見出しを付けることで、読み手に速やかに情報を伝えようとした。
- 3 情報を示す位置を整理することで、関連する情報を読み手がまとめて得られるようにした。
- 4 時間の流れに沿って情報を示すことで、読み手が必要とする情報を見付けやすくした。

5 中学校数学

- ・数学の用語の理解に課題が見られる。1 から 9 までの自然数の中から素数を選ぶ問題（府正答率26.9%）では、1 を素数に含んでいる誤答の割合が55.8%であった。また、三角形の1つの外角の大きさを求める問題（府正答率56.6%）では、1つの内角の外側の角を外角と捉えている誤答の割合が30.3%であった。

⇒「1は素数に含まれる」と考える生徒や「頂点Aにおける外角を、 360° から頂点Aにおける内角を引いた角である」と捉えている生徒が多いことから、これらの用語を活用するその後の学習において、用語の意味を再確認する場面を設定することが大切である。

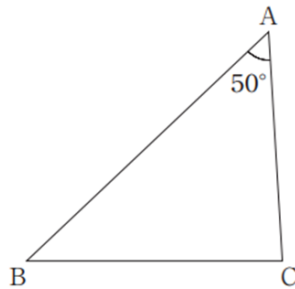
- 1** 下の1から9までの数の中から素数をすべて選び、選んだ数のマーク欄を黒く塗りつぶしなさい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

類型4～7（1を含む）
を選択した生徒の割合

55.8%（全国 50.3%）

- 3** 下の図の△ABCで、頂点Aにおける外角の大きさを求めなさい。



類型2（ 310° ）を
選択した生徒の割合

30.3%（全国 27.4%）

6 中学校理科

- ・生徒1人当たり公開問題10問と非公開問題16問を解く構成となっている。公開問題には全日程に共通する問題と実施日別の問題がある。

下の1～9は大問、(1)～(6)は各設問に相当

公開問題 (合計22問)		非公開問題	
全日程に共通する問題 (6問)	実施日により異なる問題 (16問)		
1 (1)～(6) ⑥問	2 (1) (2) 9 (1) (2) ④問	16問	
1 (1)～(6) ⑥問	5 (1) (2) 8 (1) (2) ④問	16問	
1 (1)～(6) ⑥問	3 (1) (2) 6 (1) (2) ④問	16問	
1 (1)～(6) ⑥問	4 (1) (2) 7 (1) (2) ④問	16問	

生徒一人が解く問題数 26問

- ・全日程共通の問題の中で課題が見られた問題は、大問1 (4) である。観察した水の中の生物が呼吸を行う生物か否かについて、これまで理科で学習したことを活用して、生命を維持する働きと関連付けて考えること（府正答率30.7%）に課題がある。解答類型1の反応率は58.6%で、動く生物が呼吸を行い、動かない生物が呼吸を行っていないと捉えていると考えられる。
- ⇒観察した生物の共通点と、生命を維持する呼吸の知識とを関連付けて、生命を維持する働きに関する知識を概念として身に付けることが大切である。

1 (4) 地層からしみ出した水について調べる

図のように地層からしみ出した水がたまっていたので、この水を適切な実験器具で観察しましょう。

図 地層からしみ出した水を採取している様子

下のように4種類の生物が観察できました。

観察した様子を見ましょう。

生物1 生物2 生物3 生物4

生物2、生物4の動画 出典 茨城県立科学センター

これまでの学習内容を活用して呼吸を行う生物はどれか、考えてみましょう。

呼吸を行う生物は……。

〔4〕
呼吸を行う生物をすべて選びなさい。なお、生物1から4のすべてを選んでもかまいません。